

てんかん患者の剖検例での死因についての症例検討

1. 研究の対象

2016年1月～2023年12月に当施設で法医解剖となったてんかんのある方

2. 研究目的・方法

てんかんの患者における突然死のリスクは健常者の約25倍との報告があります。突然死の原因には転倒や溺水などの発作関連事故の他、死因の5～30%を占めるSUDEP (Sudden unexpected death in epilepsy) と呼ばれる原因不明の突然死が知られていません。疫学調査により、てんかん患者の原因不明の突然死における危険因子が報告されていますが、死者の生前の生活状況や死亡時の状況と、解剖所見や薬物検査結果などを合わせて個別的詳細に検討した報告は少ないです。

今回、本施設で行ったてんかんの既往歴のある剖検例について調査を行い死因や死亡の状況、死亡以前の状態などの傾向を明らかにします。

研究期間は倫理審査委員会承認日から2026年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、死因、死亡時の状況、解剖所見、薬物検査結果 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて死者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも死者および代理人の方に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部法医学講座 濱田 知里（研究責任者）

住所：高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部 法医学講座

電話：088-880-2618